

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和4(2022)年度第1回みよし市地域公共交通会議		
開催日時	令和4(2022)年5月31日(火) 午後1時27分から午後3時25分まで		
開催場所	みよし市役所3階 研修室1・2・3・4		
出席者	<p>【会長】 伊豆原浩二 【副会長】 松本幸正</p> <p>【委員】 伊藤久司 鈴木淳 久野文仁 増岡庶 深谷彰子 小林裕之 大野淳(代理 柴田佳) 大竹宏(代理 加藤水竹) 山口直毅 毛利康浩 花村元気 山内三奈 大林益英(代理 平野新一) 伊與田正康 小久保浩(代理 中根卓矢) 野澤雄二 新谷千晶 永井勝義 酒井喜市 久野恭司</p> <p>【事務局】 政策推進部長 政策推進部参事 政策推進部次長兼企画政策課長 企画政策課副主幹 企画政策課副主幹 企画政策課主事 企画政策課主事</p>		
次回開催予定日	令和4(2022)年9月9日(金)		
問合せ先	<p>政策推進部企画政策課 担当 森</p> <p>電話番号 0561-32-8005</p> <p>ファックス番号 0561-76-5021</p> <p>メールアドレス kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp</p>		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 	要約した理由	
典 礼 海堀課長	<p>定刻前ですが、皆さまお揃いですので、始めさせていただきます。</p> <p>ただいまから、令和4年度第1回みよし市地域公共交通会議を開催いたします。</p> <p>はじめに、礼の交換を行いますので、恐れ入りますが御起立をお願いします。</p> <p>一同礼</p> <p>御着席ください。</p> <p>私は、この4月から企画政策課の課長になりました、海堀と申します。よろしくをお願いします。委員の皆さまにおかれましては、大変お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>ここで、委員の皆さまにお願いがあります。会議中の発言につきましては、マイクを使用していただき、マスクをしたまま発言をしていただくようお願いいたします。若干聞きにくいところもあるかと思いますが、御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議の開催にあたりまして、政策推進部長より御挨拶をさせていただきます。</p>		
清水政策推進部長	<p>皆さまこんにちは。政策推進部長の清水でございます。どうぞよろしくお願いいたします。本来であれば、小山市長から御挨拶を申し上げるところですが、本日、東京に出張しておりまして、私から御挨拶させていただきます。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、地域公共交通会議に御出席いただきましてありがとうございます。また、日頃は、本市の交通政策に対しまして、御理解と御協力をいただきありがとうございます。</p>		

	<p>私は、3年前の1年間だけでございますが、この地域公共交通会議に携わらせていただきまして、伊豆原先生、松本先生をはじめ、委員の皆さまの御協力によりまして、地域公共交通計画を策定させていただきました。令和2年3月の最後に、本当にこの計画を決めなければいけないという時にコロナが始まって、書面会議にするかどうか非常に迷ったという記憶がございます。</p> <p>また、今3年経ったわけですが、この2年間で皆さまに再編の方針を決めていただいて、この4月から無事、さんさんバスにつきまして再編をすることができました。</p> <p>再編後は、さんさんバスを3台増車して計9台、3路線を走らせております。皆さまからお声を聞いたところ、今のところではございますが、問題なくスタートできたと考えております。</p> <p>令和4年度につきましては、後程担当から御説明をさせていただきますが、さんさんバスのフォローアップ調査を10月に行いまして、そのほか定期券の導入ですとか様々なことを協議していただくとともに、さんさんバスだけではなくて、この地域の公共交通、名鉄バスさんであったり名古屋鉄道さんであったり、あとタクシー、ループバスなどすべての交通について御審議をいただくこととなります。</p> <p>皆さまからは忌憚のない御意見を頂戴したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>簡単ではございますが、挨拶に代えさせていただきます。</p>
<p>典 礼 海堀課長</p>	<p>本日の出席委員は、全部で22人でございます。委員の半数以上に御出席いただいております、みよし市地域公共交通会議要綱第5条第2項の規定を満たしておりますので、本会議は成立していることを御報告させていただきます。</p> <p>また、本年度から新たに7人の方が役職員の改選等に伴い、委員に御就任いただいておりますので、御紹介させていただきます。お手元に配付させていただきました委員名簿にて御確認いただきたいと存じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区長会 鈴木 淳（すずき じゅん）様 ・いきいきクラブみよし連合会 増岡 庶（ますおか ちかし）様 ・子育てクラブ連絡協議会 深谷 彰子（ふかや あきこ）様 ・名古屋鉄道株式会社 花村 元気（はなむら げんき）様 ・みよし市都市建設部 久野 恭司（くの やすし）様 <p>また、本日御欠席ではございますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県都市・交通局 交通対策課 大林 益英（おおばやし ますひで）様 ・学生代表 吉井 涼華（よしい すずか）様 <p>本来ならば、委嘱状をお一人ずつお渡しさせていただくのが本意ではございますが、机の上に委嘱状を交付させていただいておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>初めに伊豆原会長に御挨拶をいただきます。よろしく願いいたします。</p>
<p>伊豆原会長</p>	<p>皆さまこんにちは。会長を務めております伊豆原でございます。</p> <p>こういった会議がコロナの関係で、対面でできるようになり、マスクも外では少し取っても良い、熱中症の問題もある等の話も出てきております。ただ、こうやって対面で会議ができると言いながらも、これだけ広い部屋ですと、お顔を見てお話しすることはできませんが、それでも対面でできるということが、私は大切だと思っております。やはり皆さまとお顔を合わせながら、いろいろな意見を聞く、そして意見を言う、こういう仕組みがやはり大切なことだと改めて感じる場所です。</p> <p>先ほど部長さんの御挨拶にもありましたように、さんさんバスはこの会議で新しいルート、ダイヤを提案し、この4月から実際に運行していただいております。後で、事務局からもお話があるかもしれませんが、やはり御利用いただくのが大切で、住民の皆さまが利用しやすくなったと感じていただけるような形になっていけると良いと私も思っております。</p> <p>これからも市民の皆さまが、みよし市は良いまちだ、住みやすい、動きやすい、</p>

	<p>生活しやすいというような間隔を持っていただけるよう、この交通の仕組みが、それを支えていけたらと思っております。</p> <p>少しでもそういう方向へ進めたいと思いますので、時間のある限りどうぞ忌憚のない御意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>典 礼 海堀課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、協議事項へ移る前に、中部運輸局愛知運輸支局の山内委員より、本会議のあり方や進め方などについて御説明いただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
<p>山内委員</p>	<p>愛知運輸支局の山内と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>パンフレットとチラシが2枚ございます。恐れ入りますが、まずパンフレットをご覧くださいませでしょうか。</p> <p>「活発で良い議論ができる会議のために。」ということで、この地域公共交通の会議において、皆さまが先ほど伊豆原先生からもお言葉をいただきましたとおり、活発な議論を図ることで、より良い交通になり、それが良いまちになっていくということで、こういったパンフレットを作らせていただいております。</p> <p>1、2ページめのところで、公共交通についての現状で、ここ最近もコロナ禍の影響もあり、利用者が皆さまの努力で増えてきたところに、コロナがきたというような状況です。</p> <p>現状、ほとんどのところで、7、8割となっています。地域公共交通というのがどのように利用されているかということですが、通院、買い物、通学・通勤、観光といろいろなものに使われています。皆さまのまちのため、こういった使い方をしていただけるように、議論をいただくということになっています。</p> <p>3、4ページめですが、住民代表と左上に記載されています。皆さまが日頃から感じていること、こう使いたい、ここに行きたい、また、ここが不便だといったその声をこの会議で、忌憚のない意見として言っていただき、関係者の皆さまで知恵を出し合うということになっています。その関係者の中には、もちろん有識者の方、事務局の方、交通事業者といったところからも実際の運行や安全面に関する御意見をいただき、道路管理者、公安委員会、都道府県の交通担当者、それから我々といった運輸支局が、それぞれの立場で、知恵を出し合うということになっています。</p> <p>このような活発な議論をしていただきまして、より良い交通に前向きに議論いただければと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。</p> <p>続けて、チラシ2枚についてお話をさせていただきたいと思っております。</p> <p>こちらの「バスのシカクにご用心」は、バスを御利用いただくにあたり、交通の安全に注意して使っていただけると、より皆さまが安全になるというチラシです。車内での転倒事故も起きています。まず御着席し、御利用いただき、降りてからのバスの死角にも気を抜かず、バスの近くでは注意して御移動いただきたいポイントを2つ示しております。その中で、右側の部分ですが、降りて近くの横断歩道を渡る、もしくはバスの前や後ろの道路を横断する場合でも、気が抜けないよということもありますので、くれぐれも御注意いただければと思います。</p> <p>また、これはバスの利用者、乗客のみならず、交通全体、お車を運転していらっしゃる方とかそれ以外の方全体の交通安全のこともありますので、御注意をいただけるとありがたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それから、「感染対策して公共交通でお出かけだ！」のチラシは、公共交通では、コロナ対策をやっておりますので、安心してお出かけくださいというPRになります。交通では、コロナ対策をして皆さまにお越しいただけるように、対策はとっていただけていますが、御利用される皆さまにおかれましては、3つのエチケットということで、よりお互いにマナー良く安全に、安心して、快適に乗っていただくためのエチケットというもお示しさせていただいておりますので、御協力をお願いいたします。</p> <p>こういったチラシについては、ホームページで公表をしておりますので、ぜひ乗り方教室だとか、そういった開催がみよし市でも計画にありますので、お配りいただくなど御活用いただければと、大変ありがたく存じます。また、掲示にあ</p>

	<p>たっては、中部運輸局のクレジットが入っていますので、皆さまにどこでも貼っていただけます。貼っていただける分には、私どもとしては大変ありがたいと思いますので、ぜひ御活用のほどよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
典 礼 海堀課長	<p>ありがとうございました。 それでは、本会議要綱第5条第1項の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、伊豆原会長に会議の進行をお願いしたいと思います。よろしく願いします。</p>
伊豆原会長	<p>それでは、お手元の次第に沿って会議議事を進めていきたいと思います。 本日は、協議事項が3件、それから報告事項が3件の計6件用意されております。概ね1時間30分くらいを目途に会議を進めたいと思っておりますが、時間の許す限り先ほど申しましたように、忌憚のない御意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いします。 それでは、協議事項1「令和4年度地域公共交通に関するスケジュール（案）」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>企画政策課の森と申します。よろしく願いいたします。大変恐縮ですが、着座にて御説明させていただきます。 資料1を御確認ください。 本年度のスケジュールとしましては、みよし市地域公共交通計画の事業スケジュールに基づき、主に3、4、5の項目について協議、実施してまいります。 本会議の目的としましては、地域にふさわしい公共交通を作り上げるための組織として、運行や交通計画、交通施策の推進等について協議いただく場としております。 本年度の地域公共交通会議の開催予定としましては、本日も含め計3回を予定しております。本日は、次第にもあります議題について、第2回は8月頃を予定し、①路線再編フォローアップ調査の内容について、②デジタル定期も視野に入れた定期券の導入についてを議題とし、第3回は12月頃を予定とし、フォローアップ調査の結果報告及び今後の検討について等を議題とする予定であります。 4の各種事業としまして、①既に実施済みの事業ではありますが、4月1日の路線再編日から30日までの1か月間、バスの乗継ポイントである主要バス停に乗車案内人を配置し、利用者からの問合せ等にその場で対応できるよう案内業務委託を実施しました。 5月からは、バスの待合環境整備のため、利用者の多いバス停への雨よけ、ベンチを設置する工事を発注しており、7月頃完了する予定と聞いております。本年度は、全ての路線が停車する中島住宅バス停に設置いたします。 10月には、路線再編のフォローアップ調査を予定しており、平日、土日の各1日で全路線、ダイヤにおいて利用実態調査、アンケートを実施する予定です。内容につきましては、第2回会議の協議事項とし、御確認いただきたいと考えております。 次に来年の3月、こちらは初の取組となりますが、さんさんバスの日を設け、無料乗車イベントを実施したいと考えております。こちらは、利用促進の観点から、今まで乗ったことがない方を呼び込みたいという思いもありますので、資料には3月3日と記載しておりますが、3月の第3週目の土日といった設定にすることも検討していきます。 続けて、随時事項としまして、昨年度に引き続き、バスの乗り方教室を開催し、利用者増加にも繋げられるよう、小学校や商業施設、また高齢者施設等での実施を検討しております。また、車内のデジタルサイネージを活用した行政情報の放映、展示もしていきたいと考えております。 資料右側では、今お話しした内容の詳細スケジュールを記載しておりますが、EVバスといった次世代バスの導入についても、他市町の事例などにアンテナを張り、検討していきたいと考えております。 以上が議題1の説明となります。協議のほどよろしく願いいたします。</p>

<p>伊豆原会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、令和4年度地域公共交通に関する事業スケジュール等について説明をいただきました。これについて、何か御質問、御意見等ございましたらお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>年度のスケジュールですので、若干ずれることはあるかと思いますが、会議は3回ということと、大きな事業でいうとフォローアップ調査を10月に実施ということでした。また、随時いろいろな事業をしていくということだと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>【委員異議なし】</p> <p>それでは、皆さまの御同意をいただいた上で、確認させていただいたということで進めさせていただきます。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、協議事項2に移りたいと思います。「令和5年度生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）（案）」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料2「令和5年度生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統）（案）」について御説明いたします。</p> <p>こちらは、さんさんバスの路線に対し、国からの補助金を確保するためにも必要な計画となっております。さんさんバスには、地域間幹線系統と地域内フィーダー系統に位置付けされる路線がありますので、資料右側のイメージ図を用いて御説明いたします。</p> <p>まず、地域間幹線系統とは、複数の市町村にまたがって走る広域的な路線バスで、豊田市の豊田厚生病院へ乗り入れている拠点連携線、三好黒笹線、つまり、いいじゃんライン、さつきラインの2路線が該当しています。市中心部から三好ヶ丘駅を結ぶ幹線となっており、通勤・通学者の利用も多い、主要路線となっております。</p> <p>そして、今回の議題であります、地域内フィーダー系統は、地域間幹線系統を補完する路線、幹線系統と接続し市内の移動を支える路線であり、路線再編に伴い、新たに運行している福田明知線、つまりくろまつラインが該当しています。</p> <p>国庫補助金である地域内フィーダー系統補助の申請にあたっては、スケジュールにあるとおり、令和5年度事業として申請します。バス年度では、令和4年10月から令和5年9月までを令和5年度の事業期間とします。申請を行うにあたっては、地域の実情に応じた生活交通ネットワークを確保、維持するための計画として、本市が生活交通確保維持改善計画を策定する必要があり、国への計画認定申請を6月末までに行う必要があるため、今回、協議いただきたく、議題としております。</p> <p>それでは2ページの計画案を御確認ください。</p> <p>目的としては、路線再編により、全ての系統を市中心部で結節させ、乗換機能の充実を図ることや、高齢者人口の増加により、運転免許返納等による移動困難者の増加が今後も続く見込みであることを踏まえ、地域住民の移動手段を将来にわたって確保、維持することで、みよし市の公共交通のめざす姿である「人とまちをつなぐ 快適交流都市 みよし」の実現を図ることとしています。</p> <p>必要性としましては、市中心部で全ての路線が結節することで、市内全域、市外への移動が可能となり、様々な移動目的に対応して市民生活を支えることができる点を挙げています。</p> <p>資料右側の(1)事業の目標としては、新型コロナウイルスの感染対策として移動を控える「新しい生活様式」の動きも続くことが想定され、利用者数の落ち込みは今後も考えられます。目標値については、令和元年度の既存ルートの実績に基づき設定をしておりましたが、路線再編後の5月実績が集計できましたら、4、5月分の実績を踏まえ、目標値を設定させていただきたいと考えております。</p> <p>(2)の事業の効果としましては、市南部の通勤・通学、通院、買い物などに係る生活交通を確保でき、市中心部で、地域間幹線系統と地域内フィーダー系統が結</p>

	<p>節することで、市内全域及び市域外への移動が可能になり、鉄道駅へのアクセスも可能となります。</p> <p>この目標を達成するために行う事業及び実施主体として、さんさんバスの確実、安全な運行はもちろんのこと、地域公共交通計画に基づく各種事業や交通事業者と連携した利用促進、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底していきます。</p> <p>3ページを御確認ください。予定している運行内容としましては、4月の路線再編によるダイヤ等に変更はございません。</p> <p>4ページに移りまして、資料右側の利用者等の意見の反映状況としましては、地域公共交通計画策定時に実施した利用者アンケートや路線等再編に向けての基本方針を定めた際のパブリックコメント等、公共交通利用者を含む多くの市民意見を反映した内容となっております。説明は以上になります。協議のほどよろしくお願ひします。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま、令和5年度の生活交通確保維持改善計画の案について説明をいただきました。これが6月末までに国へ提出ということで、本日皆さまの御了承、御了解をいただくということだと思います。</p> <p>どうぞ御質問等ございましたら、お受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>フィーダー系統、いわゆる枝の部分ですが、みよし市としては、この路線再編後のくろまつラインが初めてですよね。今までは、さんさんバスの両系統とも地域間幹線系統ということで愛知県から補助申請といたしますか、確保維持改善計画を提出いただいておりますが、フィーダー系統は、各市町ということでみよし市としてはこの申請が初めてになると思います。</p> <p>少しわかりにくいところがあるかもしれませんが、御質問等なんでも結構です。いかがでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>本年度から参加させていただいております、区長会の鈴木です。</p> <p>最初に国からの補助金を得るための計画というお話がありましたが、補助金としての規模、金額的なものはどの程度が見込めるのですか。</p>
事務局	<p>地域内フィーダー系統につきましては、運行距離なども条件となってきますが、500万円ほどを予定しております。</p> <p>また、地域間幹線系統につきましては、昨年度実績としまして約2,000万円の補助を受けております。</p>
鈴木委員	<p>ありがとうございました。</p>
伊豆原会長	<p>今の御質問のようにわからないところがありましたら、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
山内委員	<p>少し補足ですが、幹線系統としては、他に名鉄バスも幹線としての位置付けはございますので、その点だけ補足させていただきます。</p>
伊豆原会長	<p>若干気になる場所として、目標値についてですが、一応利用者推計はしてくれていますが、実績値が6月の申請までに4、5月の2か月分出てきますよね。ですから、先ほど実績に基づいてというお話があったため、4、5月分の実績を基に、この目標値を実績ベースの形として、修正するということが私は必要になるかなと思います。</p> <p>そういうこともあって、先程の事務局の説明では、そこまで触れてくれていませんが、そのあたりは、私と事務局で相談をして、もちろん運輸支局さんとも相談しながらこの数値を精査して申請したいというふうに思っておりますので、これについても皆さまの御了承をいただけたらと思います。</p> <p>それを含めて、何か御質問、御意見等ございましたらお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
松本副会長	<p>そもそも28万人さんさんバス利用者がいて、そしてコロナの影響で、令和2年が約7割、令和3年が8割という感じですよ。令和元年の推計でフィーダー路線、これが67,000人でしたので、おそらくこのままいくと、8割で5万人弱ぐらいが現状だと思います。</p>

	<p>ただ、それに対して4月で再編しており、それなりに好調だということなので、それよりは上がりそうだということだと思います。とはいえ、目標が今71,000人ということで、かなり高い目標を皆さまで掲げようという、これはもう皆さまの合意というか、承認することですので、まずは共通認識が必要だと思っております。すなわち、目標はコロナの前よりも高く、そして現状はコロナの状況で厳しい。</p> <p>ただ、幸い落ち着いてきますので、さらに秋からの計画ですので、頑張ればできると思っておりますが、いずれにしても、かなり高い目標を掲げております。そして、それを実施するために、何をやるかということで2ページに書かれていますが、これをやることによって、この高い目標を達成しようということで皆さまと決めることとなります。さんさんバスの安全、確実な運行は良いですが、バスマップ、環境整備、バスロケ、乗り方教室、各種イベントの利用促進キャンペーン、あるいは、キャッシュレス決済導入、商業施設と連携した利用促進、この辺が大変重要な利用促進、利用者増加に繋がる取組だと思っております。これを事務局だけではなくて、ここにお集まりの構成員とともにやっていく必要があると思っております。</p> <p>ここで合意するわけですから、皆さまで承認したという確認の場でもあると思っております。そういう意味で、先ほどの計画にさんさんバスの日という3月3日に何か新しく取り組もうということが書かれておりましたが、ひょっとしたら本年度はやりませんが、コロナの状況によってはやれるかわからないというのもあるため、ここには書いていないのか、あるいは利用促進という中に入るのかもしれないかもしれませんが、いずれにもこの高い目標を掲げるためにいろいろなことにチャレンジしていこうということだと理解しております。</p> <p>意見ということで、お願いします。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今お話いただいたとおりですので、さんさんバスの日はここへ追記していただけたらと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
新谷委員	<p>今、この計画をここで承認するという事は、私達も一人ひとりがちゃんとその責任を持つんだというところで、なかなか地域内リーダーというのも初めて耳にする言葉で、今まで私たちが利用していたさんさんバスは国の枠組みからすると系統の違うものだったんだということを改めて確認しました。</p> <p>今その目標とする71,000人というのが、とても高いものだと言われて、それを進めていくものとして2ページに書かれている実施事業の中で、私たちが少し関与し、考えることができるのは、バスマップの作成、配布というところと、待合環境の整備だと思います。利用する側にとってはとても重要なポイントで、今までもバスマップはありましたが、なかなか私の周りでも評価良くなかった部分もありました。</p> <p>今回のバスマップは、私たちの周りでも評価が高くて、わかりやすいし、使いやすいマイ時刻表というところもあって、比較的自分が定期的に使いたいものであれば、乗る場所だとか、時刻を書くことができます。これを本当に必要とする人たちの手元に届けたいという話が実は出ていまして、そういう意味で、これは一体どのくらい準備されていて、免許返納や交通に不安のある高齢者の方とか子どもたちに持ってもらうと、活用が広がると思います。</p> <p>そういうところで配布先というのを相当工夫していただけると、有効に動き出すと思いますし、結構バスを待っている方もいて、病院に置いても良いのではないかと、いろいろな意見がありました。ぜひ、そこら辺を工夫して欲しいと思います。そういう情報はどこにお届けすると良いか、ちょっとわかりやすい仕組みにさせていただくと良いというのが1点と、あと待合環境の整備ということで、先ほど中島住宅バス停に雨よけとベンチを設置するというお話でしたが、やはり環境が良くなるのは待合がとてもしやすくなりますので、良いですが、本年度一体何か所ぐらいの計画があるのかということと、あと現在設置が無く、問題が残っていて対応しなきゃいけないバス停がいくつあるのか教えていただきたいと思</p>

	<p>ます。そして、今後それをどのくらいの計画で進めていかれようとしているのかという点も教えていただきたいです。</p> <p>あと、最近小耳にするのが、バス停付近が暗いという声もありまして、やはりある程度遅くなり暗くなると、子どもたちは不安ですし、正直大人でも不安です。待合環境の整備というところで、明るさというか、そこら辺もすぐに対策できなくても、現状を把握していただけると良いと感じます。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございます。今、3点ほどいただきました。</p> <p>バスマップについては、事務局から部数だとか配布方法について、バス停環境については、本年度どれぐらいの整備をされるか、予定があるのか等について、最後はバス停付近の対策など何か考えていることがあるか、簡潔に説明をお願いします。</p>
事務局	<p>御質問ありがとうございます。</p> <p>バスマップにつきましては、昨年度作成した分は、全戸配布、また公共施設等で配布をしております。そして、本年度は新たにバスマップを25,000部作成予定で、市内の公共施設やイオンなどの商業施設、その他病院など、要望があったところへの配布を予定しております。</p> <p>バス停につきましては、中島住宅のバス停を本年度設置しますが、その他黒笹駅の上屋のシェルターが経年劣化しているため、修繕をして参ります。</p> <p>企画政策課加藤でございます。補足で説明をさせていただきます。</p> <p>バス停の修繕につきましては、今後も年に1か所程度、継続して整備を進めていけたらと思っております。予算の許す範囲でございますが、そういった計画を立てております。</p> <p>バスマップの配布についてですが、昨年3月に全戸配布をさせていただきましたが、御意見の中で、やはり1世帯1部では足りないというような意見もいただいております。皆さまの手に取っていただけるような場所に配置させていただくことで、多くの方が手に取っていただけるようなものとして、配っていただけるとも思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>あと、最後の御質問でありました、バス停周辺の明るさについてですが、バス停の上屋等の設置をする際には当然のことながら、電気、明かりを付けるような形で整備をして参りますが、そういった整備ができないところにつきましては、周辺の状況等を考えながら何か具体的な対策はとれていませんが、防犯灯ですとかそういったこと等も絡めながら、対策がとれたらと思っております。よろしく願いいたします。</p>
伊豆原会長	これは全戸配布したんですね。残りはまだありますか。
事務局	本年度25,000部新たに作成しますが、現時点で約5,000部ほど余りがありますので、必要な方、施設等へ配布をしたいと考えております。
伊豆原会長	余りが5,000部あるということで、すぐに無くなるわけではないでしょうから、老人会や必要とされる皆さまにお渡しできると良いと思います。欲しい方は市役所に来ればいいですか、また連絡先はどこになりますか。
事務局	企画政策課の方へお電話いただければと思います。
伊豆原会長	<p>企画政策課で対応してくれるということですので、また皆さまの所属でお伝えください。</p> <p>バス停環境については、三好丘とか市役所等、結構設置しているか所もありますが、空間の問題等で条件があると思いますので、そこら辺はまた事務局で整理をしていただきたいと思います。よろしく願いします。</p> <p>昨年までは、県から地域間幹線系統ということで申請していただいていたので、なかなかこの生活交通確保維持改善計画という言葉も身近なものではないので申し訳なかったですが、一応、他の2路線については県の方で申請していただき、地域内フィーダーの福田明知線については、市の方でということ、3路線とも補助申請をするということになっておりますので、よろしく願いします。</p> <p>他に御質問等なければ、このように進めていく形になりますのでよろしいでしょ</p>

	<p>うか。</p> <p>それでは、運輸支局の方にも目を通していただき、不備等ございましたら、若干修正が入るかもしれませんが、そこはこちらにお任せいただくということでもよろしく願います。</p>
松本副会長	<p>運輸支局の方にも出席いただいていますので、後からがらっと変わるのはやめて欲しいと思います。特に目標値について、せっかく委員の方に確認いただいているので、これが大きく変わるのには、承認し直したと思います。そうではなくて、国に出すので細かな修正は良いと思いますが、利用者数だとか、年度ごとの数だとか、この場で皆さまに御承認いただいた骨格のところは、勝手に変わるようなことがないようにぜひお願いしたいと思います。</p>
山内委員	<p>その点については、十分注意します。</p> <p>伊豆原先生もおっしゃったように、本当に微修正といいますか、皆さまの意図がより伝わるような形で直したいと思います。</p> <p>よろしく願います。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、そのような形で進めさせていただきますが、よろしいですか。</p> <p>【委員異議なし】</p> <p>ありがとうございます。よろしく願います。</p> <p>それでは協議事項3に移りたいと思います。</p> <p>「地域公共交通計画の事業評価(案)」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料3を御確認ください。</p> <p>こちらは、地域公共交通計画の目標指標に対する事業評価を行うための資料となっており、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、毎年度地域公共交通計画の実施状況について分析及び評価等をする必要があるため、議題とさせていただきました。本日机上配布いたしました、地域公共交通計画の抜粋資料も合わせて御確認ください。</p> <p>本市の交通計画は、令和2年度から6年度までを計画期間としていることから、目標の基準値は全て6年度時点の値としております。</p> <p>まず、目標指標の1つめとして、公共交通全体の年間利用者数を317万人としておりますが、3年度実績では233万1,912人となっております。この後の報告事項で令和3年度実績について、詳しく御説明いたしますが、コロナの影響もあり、全体として利用者が減少しているものの、地域住民の移動手段としての役割を果たしていることから、4年度にさんさんバスの路線再編を行いました。引き続き乗り方教室などの利用促進、交通全体で啓発にも取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>3つめから5つめの目標は、1つめの目標が全体だったのに対し、名鉄豊田線、名鉄バス、さんさんバスの個別目標となっております。名鉄豊田線、名鉄バスは基準となる平成30年度の利用者数以上とすることを目標としておりますが、こちらもコロナの影響もあり、達成できておりません。また、さんさんバスにおいても達成できておりませんが、各交通事業者と連携し、利便性向上、利用促進にもつながるアプリの周知や啓発活動を今後も実施していきたいと考えております。</p> <p>一番下の目標、乗り方教室の実施についてですが、目標値3回に対し、3年度は2回という実績でした。目標値を達成するため、商業施設でのイベント等に合わせた実施や、小学校や高齢者施設等で実施するほか、公共交通を身近に感じられるよう各交通事業者の方とも連携し、実施できたらと考えています。</p> <p>なお、2つめの目標のように、取組などハイフンとなっている目標が3つありますが、こちらはアンケート結果による指標となっており、3年度は評価できないため、このように記載しております。6年度の計画見直し時に実施する調査の中で、前回調査時と設問の整合性を図り、評価したいと考えております。</p> <p>以上が交通計画の事業評価になります。協議のほどよろしく願います。</p>

伊豆原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>お手元に本日配布していただいた公共交通計画の目標というのが、あると思いますので、それを参考にしながら見ていきたいと思います。</p> <p>ただいま、この地域公共交通計画の事業評価といいますが、各案について説明をいただきました。これについては何か御質問、御意見等ございましたらお受けしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
深谷委員	<p>一番下の市民を対象とした乗り方教室の実施ということで、小学校等やイベントでのバスの乗り方教室を開催とありますが、私は存在自体全く知らなくて、子どもが小学生ですが、どのようにイベントをお知らせというか、周知しているのかということと、本年度は、具体的にどこの小学校でイベントがあるのか情報を教えていただきたいと思いました。</p>
事務局	<p>御質問いただきありがとうございます。</p> <p>まず、小学校での乗り方教室につきましては、授業の一環でやっているものになります。昨年度は、緑丘小学校3年生を対象に開催しました。本年度三吉小学校に相談をさせていただいているところです。他の小学校へもこちらからアプローチをしていきたいと考えております。</p> <p>また、イベントに合わせた乗り方教室の実施につきましては、本年度は、防災安全課が所管する安全安心大作戦という防災イベントがありますので、そこにバスを持っていき、合わせて開催できたらと考えております。イベントについては、イオンさんのチラシや、市のホームページなどでもお知らせをしていきます。</p>
深谷委員	<p>イベントなどについて、学校でお手紙配布とかは行ってないということですか。</p>
事務局	<p>市役所から案内はしておらず、先生からもしかしたら生徒に向けて案内を出しているかもしれませんが、市からというものは、今まで行ってはいませんでした。</p>
深谷委員	<p>存在自体を全然知らなかったもので、もう少し周知できたら良いと思いました。</p>
事務局	<p>承知いたしました。ありがとうございます。</p>
伊豆原会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
永井委員	<p>資料の目標を達成するための取組の中で、外部環境にはなりますが、観光サービスにも対応したエリア版MaaSアプリについて記載があります。</p> <p>本日も愛知県の交通対策課さんにも来ていただいています。愛知県で昨年度から11月にジブリパークが開業することにも合わせて、ウィンウィンになるような交流施設の連携ということも視野に入れて、あと愛・地球博のときに、1,800万人以上が来ましたが、公共交通と自家用車がうまく連携するというレガシーも含めながら、取組をされています。そこには一体何があるかということ、伊豆原先生が言われた対面の会議のように、単なる検索アプリで乗り換え案内するだけでは駄目で、その情報以外に他の施設の情報を知って、そこに行ってみたりとか、ちょっと滞在して泊ってみたりとか、そういうところが大事だというふうに、このコロナ禍を終えてなおさら言われてきています。</p> <p>心がワクワクするような、移動のモチベーションを引き出すということで、例えば豊田市さんでは、5月の連休明けに、にぎわいおもてなし協議会ができたり、愛知県さんでもできたりしていますので、ぜひアプリの周知とかだけでなく、みよし市さんも千載一遇の機会と考えていただいて、ジブリパークは完成するまで50年以上かけるなど、スタジオジブリが言っているそうですけど、そういう意味では長い目で見ていただいて、一斉に大規模の人がたくさん来る、テーマパークではないですが、ただそこに立派な広域MaaSで移動のモチベーションを上げるような地域情報を提供しながら、パッケージでお得に移動できるとか、ちょっと滞在してみようとかですね、スマホのアプリだけではなく、紙レベルでもひよっとしたら何かそういうこともできるかもしれませんが、</p> <p>まず、外部環境ではありますが、そこにうまくみよし市の魅力も発信していただけると良いと思います。にぎわいを呼び寄せながら、みよし市のさんさんバスも当然使いながら、滞在してもらったり、交流してもらったりということになる</p>

	<p>と、先ほどの71,000人も施設にもよりますが、追い風になるということもあるかと思ひますし、ぜひその広域の愛知MaaSということで、注目をしていただければと思ひます。</p> <p>11月以降、ジブリパークも開業しますが、状況を見て、早くから連携を意図していただければと思ひます。主管部署は、観光振興かもしれませんが、まちづくりを考える部署として、また、さんさんバスの事務局としても考えていただければと思ひます。</p> <p>参考ですが、せつかく取組と課題と書いていただいたので、お願いしたいと思ひます。</p>
伊豆原会長	<p>大変良い御意見をいただきました。</p> <p>ぜひ、事務局でも考えていただけたらと思ひます。そう難しく捉えず、楽しく、面白くというのはすごく大切だと思ひます。自分が楽しくないのは、隣の人だって楽しくないわけですから、自分が楽しくということを基準にしながら今のお話を私は聞いていましたので、ぜひ、その周辺のいろいろなイベントもそうでしょうし、市内でのイベントもそうだと思ひます。</p> <p>みんなが楽しく参加できる、面白く参加できるといったことも含めて、ぜひ、このさんさんバスから名鉄バス、公共交通を使って動くということの楽しさといひますか、ぜひ展開してもらえると良いのかなと思ひます。</p> <p>大変良いお話をいただきましてありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p>
花村委員	<p>名古屋鉄道の花村でございます。</p> <p>永井様からMaaSのお話が出ましたので、本日皆さまにお配りさせていただいたCentXの告知を少しさせていただきつつ、名鉄豊田線の年間利用者数等も目標に入っておりますので、現状についてもお伝えできればと思っております。</p> <p>まず、CentXについてですが、3月26日にリリースさせていただいたMaaSのアプリでございます。ただ、MaaSというと非常に難しいので、表に記載のとおり、また伊豆原先生がおっしゃったとおり、おでかけをもっと楽しくする便利なスマートフォンのアプリという形でリリースをさせていただいております。</p> <p>中身ですが、永井様がおっしゃったとおり、乗り換えルート検索はもちろんのこと、お出かけを楽しくするという観点から、目的地が決まっておき、行きたいところにどうやっていくかを探すだけではなく、今日はちょっと暇だな、天気が良いしどこか行きたいなという時に、どんなイベントがやっているのかもこのアプリから情報を得ることができます。</p> <p>おでかけ情報としまして、愛知県観光協会の情報、岐阜県観光連盟の情報がすべて網羅されております。そちら見ていただき、今美術館でこういう展示をやっているなら行ってみようという乗り換え検索で、ノンストップで検索できるというものでございます。</p> <p>また、次の進歩として、アプリ中で決済までできれば、乗車券にも変わるというところまで将来図としては描いていきたいと考えております。</p> <p>続きまして、資料中にもあります、名鉄豊田線の年間利用者数ですが、達成状況の欄に令和3年度の数字も入っております。平成30年度から比べると、約7割という現状でございます。令和3年度の数字が出ておりますので、名古屋鉄道全体のお話もさせていただくと、全路線ともに同じような傾向で、定期券の利用者数が、平成31年度と比較しますと15%減となっております。定期以外の利用者の方は、30%減という状況で、全体としましては約2割の減少ということでございます。こちらは、利用者数ベースで、定期外では観光で出かける方が減っているという関係から収入の面ではもっと悪い状況というところでございます。コロナの感染者数も収束し始め、外出ムードも高まっているほか、県民割りも始まっておりますので、今後観光政策も出てくることも想定しておりますが、そういった時に、また皆さまが電車に乗れるようにということで、アプリも含めて皆さまのお出かけの準備をサポートしておりますので、ぜひまた御活用いただければと思ひます。</p> <p>会議の中で、意見といひますか告知をしてしまいまして申し訳ございませんが、</p>

	<p>よろしくお願いいいたします。</p>
伊豆原会長	<p>現状も含めて、今パンフレットがございまして、一度使ってみるのはすごく大切だと思います。ぜひチャレンジしてみてください。 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p>
松本副会長	<p>今の話と関連しますが、名鉄豊田線、名鉄バスに関しては、アプリ等の周知と次年度に向けた課題や取組に書かれています。今御紹介のあったCentXについて、私が宣伝するわけではないですが、これはさんさんバスも検索できます。これがすごく重要で、市民の方々にとってみれば、どこかへ行こうと思った時にさんさんバス、名鉄バス、電車を使っていけるか検索できるのが一番重要で、さんさんバスしか検索できないのはまずいです。もちろん名鉄バスしか検索できないのもまずいですが、全部が検索できることがすごく大事だと思います。</p> <p>もう欄がいっぱいだから書けないかもしれませんが、さんさんバスの利用者の方々に対しても、アプリを使っていただくという周知はすごく大事だと思っております。線引きするような時代ではなくなってきているので、各交通事業者の対策ではなく、公共交通全体でDXによって便利になっていくというのを出していたかと良いかと思っております。</p> <p>ここにも書けなくても、そういう意識はぜひ持ってください。</p> <p>また、先ほど深谷さんのお話で、乗り方教室について全然知らなかったということですが、やはり様々な公共交通の取組をやっていく上で、これが一番大きな課題だと思っていて、行政としてはホームページや広報に載せています。バスマップも全戸配布して一生懸命やっていたのはわかります。それから、この会議の委員の方もそういうことを認識しています。ただ、実際には伝わっていないということで、今やっているから良いだろうというわけではなく、いろいろなチャンネルで情報を発信し続けていく必要があると思っております。その中で、一つは本日御参加いただいている委員の方々も所属されている組織でぜひ情報発信をお願いしたいということもありますし、それから、最近は、SNSを活用して、ツイッターやフェイスブックだとか、例えば子育てのSNSだとか、いきいきクラブのSNS、あるかどうかは知りませんが、そういったものもすごく有効みたいですので、メディアを使ったチャンネルで情報発信というのも一つ考えていただくと良いかもしれないですね。</p> <p>ちなみにみよし市はそういうのをもちですか。</p>
事務局	<p>インスタグラムやツイッター、フェイスブックもありますので、今後こういった媒体でさんさんバスに限らず、市の行政情報等についても、これを活用して周知していきたいな思っております。</p>
松本副会長	<p>インスタグラムは、結構若い子たちは見ているという話を聞きます。そういうのが効果的だと思いますので、ぜひ情報を見ただけのような、届くような発信をしていただくと良いと思います。よろしくお願いたします。</p>
伊豆原会長	<p>お話があったように、自分たちのホームページに載せたからオープンになったと思っていること自体が問題でして、広報誌でも全戸配布されているでしょうが、何人読んでいるのか、そういう分析もしていきながら、あらゆる手を使っていくのはすごく大切で、集まった時にバスに乗ったとか、話題にいつもしてもらえると良いと思います。今日はバスに乗りましたとか、ぜひそういうのを言っただけならばと思います。今日こちらへ来るときに、いいじゃんラインのバスとすれ違いましたが、これかって思いました。あれだけ目立つ車体のものを見たときに、誰もが何だろうってなると思っています。私はすごく良いなという感じがします。ですから、何だろうって思ったときに、あれがさんさんバスだと結びつくように、メッセージを出していくというのがすごく大切かと思っております。それで皆さまに認知されてれば、別の方法もあるかと思っておりますので、事務局の方は大変かもしれませんが、よろしくお願いたします。今日御出席の委員の皆さまにも、お願いしたいのが、お帰りになったらさんさんバスのお話を、ぜひ話題にさせていただくなど、関心を持っていただけたらと思います。</p> <p>ぜひ評価という言い方は良いか悪いかわかりませんが、みんなでバスを育てる、</p>

	<p>さんさんバスを良いものにしていこうということ、それから名鉄バス、名古屋鉄道ともうまく乗り継げることも含めて、ぜひ皆さまで話題にしていればというふうに思います。よろしくをお願いします。</p> <p>事業評価は、本年度始まったところで、毎年こういつたことを話題にしながら、次は何をやったら良いかということも含めて御提案等いただけると大変ありがたいと思います。本日は、この形で御了承いただいたということでよろしいでしょうか。</p> <p>【委員異議なし】</p> <p>ありがとうございました。御了承いただいたということで進めさせていただきます。</p> <p>それでは、報告事項に移りたいと思います。</p> <p>令和3年度さんさんバス等の実績報告及びみよし市公共交通体系について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料4を御確認ください。こちらは、令和3年度の実績報告資料になります。</p> <p>まず、1ページにあります、さんさんバスの年間利用者数ですが、令和3年度は241,751人で、前年度比プラス約31,000人で約14.7%増加しました。コロナ前の利用者数と比較すると、依然40,000人ほど相違はありますが、通勤通学者の利用が回復してきたことが今回の増加につながっていると考えられます。</p> <p>2ページに移りまして、乗継タクシーの年間利用者は、令和3年度1,426人で、前年度比プラス396人となっています。4月の路線再編に合わせ、乗合タクシーから乗継タクシーに変更していますので、御了承ください。</p> <p>3ページに移りまして、運行経費ですが、令和3年度の運行経費121,868千円に対し、22,590千円の料金収入と20,833千円の補助金でまかない、不足分を市が運行負担金としてお支払いしています。</p> <p>補助金についてですが、こちらは議題2で御説明しました市をまたいで運行する地域間幹線系統に対する補助金になります。</p> <p>運行経費に対する、料金収入からみた収支率は約18.5%になります。今後は路線再編により、バスを3台増車、また50便から92便での運行としていますので、収支率は下がってくるのが予想されます。</p> <p>5ページに移りまして、月別利用状況では、イのくろまっくん、ウのさつきちゃん、ともに全ての月で前年度を上回っております。アの総計のグラフを見ましても、数に違いはあるものの、令和元年度以前の利用実態と形が似てきており、人流も戻りつつあると考えられます。</p> <p>とびまして、10ページを御確認ください。バス停別乗降者数になりますが、アイモール・イオン三好店が70,529人と一番多く、次いで豊田厚生病院が53,046人で2番目となっており、商業施設や病院、鉄道駅、公共施設への利用が多いことが分かります。11ページはバス停別の対前年度増加人数順になっております。10ページの順番と上位のバス停がほとんど同じであり、年間利用者数の増加がわかります。</p> <p>16ページに移りまして、乗継タクシー乗降場別の利用者数ですが、打越地区3(三好特別支援学校前)が最も多く、813人となっています。こちらは、学校に通う方のほか、近くの老人ホーム「安立荘」にお見舞い等のため利用される方が多かったことを受け、路線再編時に老人ホーム前に新たにタクシー乗降場を設置しております。</p> <p>18ページに移りまして、愛知つばめ交通さんが運行する三好ヶ丘ループバスの利用者数ですが、令和元年度以前に比べ大幅な減少となっております。</p> <p>20、21ページは名鉄バス3路線、名古屋鉄道の利用者数ですが、利用者の多いバスの星ヶ丘豊田線、名鉄豊田線のどちらも前年度より増加はしているものの、元年度と比較すると、バスは20万人、電車は100万人以上の減少となっていることがわかります。</p> <p>23ページに移りまして、こちらは、議題3と重なりますが、市内の公共交通全</p>

	<p>体の利用者数を路線別で表記しております。ここで一点資料の修正をお願いいたします。路線名に乗合タクシーと表記がありますが、乗継タクシーに名称変更をお願いいたします。申し訳ありません。資料の説明に戻りまして、先ほども御説明いたしましたように、利用者数の目標を令和6年度に317万人としております。平成30年度の水準に戻しても313万人のため、さらなる利用促進が必要と考えております。</p> <p>資料の下側は、3年度に本市が実施した取組ですが、バス乗り方教室、キャッシュレス決済の導入、市内小学生を対象としたバス車内音声案内収録を実施した他、待合い、乗車環境整備として案内表示モニターやデジタルサイネージの設置も行いました。また、路線再編イベントも実施しましたので、次のページのA3資料で御報告いたします。</p> <p>イベントは3月20日、27日の計2日間イオン三好で行いました。20日は、ワークショップとして、さんさんバスがデザインされた缶バッジの作成を行った他、本市がSDGsを推進していることから、オリジナルエコバッグの作成を行いました。現在SDGs推進事業として、東海学園大学さんと連携させていただいているため、学生にも協力いただき、共同企画イベントとして実施しました。</p> <p>27日は、バス乗車体験として、新デザインのバスを展示し、車内での写真撮影、啓発品の配布を行いました。</p> <p>先ほど御説明しました、車内音声案内収録に参加いただいた小学生にも事前案内をしていたこともあり、2日間で約700人の方に参加いただきました。</p> <p>本イベントでは、名鉄バスさんのPRグッズなども配布させていただきましたが、今後各交通事業者の方と連携し、イベントを実施できたらと考えております。</p> <p>25ページ以降は、本市の公共交通体系をまとめた資料となりますので、御確認いただきたいと思いますと思いますが、説明は省略させていただきます。以上が報告となります。よろしく申し上げます。</p>
伊豆原会長	<p>令和3年度の利用実績等の報告と、公共交通体系の御説明をいただきました。何か御質問ございましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>再度失礼します。</p> <p>今日バスに乗って来ましたが、車内音声案内で子どもたちの声が流れていて、結構子どもさんが頑張っている感じがしました。サイネージの映像もいろいろ流してみえると思いますが、ああいったところに音声案内の紹介もできれば良いと思います。音声案内をした子たちが出れば、もっとファンが増える気がしましたが、それとこの音声案内の収録のパターンを3年とか1年とか定期的に変えれば、子どもたちの親とかにもっと乗ってもらえると感じました。これは意見ですので、特に御返答は結構です。</p>
伊豆原会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
永井委員	<p>23ページの実施事項の中で、今の乗り方教室ですとか車内音声案内収録の実施とか、非常にユニークで有効な取組をされていますが、令和3年7月にキャッシュレス決済、このPayPayについても、結構苦勞されていたと思います。残念ながら、交通系ICカードは地域のバスに使うのには莫大なコストがかかるということもあって、今普及しているものということで、見据えてPayPayを導入されたと思います。キャッシュレス決済を導入いただいたことは、非常に良いと思いますが、料金がワンコイン100円にしていることもありますので、何か即時性ということで、1年経過しましたが、今日もバスマップに写真もつけていただいていますけど、その中で読み込みとか事前に前もって利用者が用意しているので、問題なく円滑に使えていますとか情報がありましたら、教えてください。</p>
事務局	<p>御質問ありがとうございます。</p> <p>昨年7月からPayPayを導入していますが、特に大きな問題は起きておりません。</p> <p>QRコードの決済方法としましては、バスの車内にQRコードを設置し、そちらを読み取って決済をしていただくこととなりますが、料金が定額制ということで、QRコードにもともと100円、また回数券1,000円というものを埋め込んでいるため、読み取った時点で100円という画面が表示されますので、他の決済よりも簡単で、</p>

	しかもスピードも速いということで、問題は起きていないと運行事業者からも報告を受けております。
伊豆原会長	他にいかがでしょうか。
久野委員	<p>感想めいたことですが、4月から新しいダイヤ、編成でスタートして、車に乗りながら見ていますと、かなりの方が乗られるようになったと感じます。イオンでは、本当にたくさんの方が乗り換えで待っています。そんな状況をよく見ますが、4月から1か月間、案内の方がいろいろ乗られる方に説明されていたということで、本当に一生懸命頑張って新しい形でスタートされたなど、そんなことを感じています。</p> <p>たまたまこの間、福田まで行く用事があって最後のところで、運転手さんと少しお話をさせていただきましたが、遅延することがほとんどなくなったと言っていました。そこも考慮されていると思いますが、以前は20分以上遅れることもありましたが、5分以内でほとんど遅れてもそれぐらいだというようなことで、本当に運転手さんにとっても良くなったという感想を言っていました。ダイヤに遅れると、少しでも早く行かなくてはという運転手さんの心理みたいなこともありますので、交通安全上も本当に良くなったと、そんなようなことを思いました。</p> <p>ぜひフォローアップの調査等についても、現場で働いてみえる方とか、そういった方たちの御意見も、ぜひこれから聞いていただけると良いかと思いました。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今の感想も含めてですが、報告事項2に関連しておりますので、報告事項1については、皆さまに御確認いただいたということでよろしいでしょうか。</p> <p>【委員承認】</p> <p>続きまして、今の久野さんの御感想にもありましたが、再編後の一月分の実績、報告等についてということで事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料5を御確認いただくとともに、本日机上配布いたしましたバスマップも合わせて御確認ください。</p> <p>4月1日の路線再編により、2路線50便の運行から3路線92便で運行しているほか、主要バス停で他の路線への乗り継ぎが可能となる乗継ポイントを設けているのが再編の大きな特徴です。</p> <p>まず、路線再編後の4月の利用者数は、22,362人であり、前年度4月と比較し、約2,000人の増加、またコロナ前の令和元年、平成30年度の利用者数に近い数字となっております。この結果の要因としましては、路線再編によるもの、コロナの感染状況も影響しているかと思いますが、年間利用者数を4月実績ベースで計算すると約27万人以上の利用は見込めることとなります。</p> <p>2ページに移りまして、路線別の乗降者数ですが、いいじゃんラインは8,266人、さつきラインは9,695人、くろまつラインは4,401人となっております。いいじゃんラインは往復16便、さつきライン、くろまつラインは往復各15便となっておりますが、バス停数の多いさつきラインが最も利用者が多い結果となっております。</p> <p>3ページに移りまして、乗継ポイントで乗り継いだ方の利用者は、計482人おり、くろまつラインといいじゃんライン間で乗り継いだ方が計311人、くろまつライン、さつきライン間で乗り継いだ方が134人でした。</p> <p>資料右側のバス停別で見ますと、イオン三好での乗り継ぎが439人で利用者の9割を占めており、次いでみよし市民病院が37人となっております。</p> <p>みよし市役所、サンライブが0人となっておりますが、イオンでの乗り継ぎが時間的にも余裕のあるダイヤ設定となっており、問合せがあった際はイオンでの乗り継ぎを案内していることも関係していると考えられます。また、みよし市民病院につきましては、いいじゃんラインの始発バス停になりますので、座れるよう市民病院で乗り継ぐ方がみえると運行事業者より報告を受けております。</p> <p>4ページに移りまして、バス停別の乗降者数ですが、イオン三好が最も多く7,</p>

	<p>730人、次いで豊田厚生病院が4,798人と上位バス停は再編前とほとんど変わっておりません。路線再編に伴い、新たに新設したバス停は、20番の寺田橋東が559人、26番のおかよし交流センターが437人、37番の旭2丁目が312人で、ひばりヶ丘2丁目とみどり保育園は時間帯によって停車しない便もあるため、利用者数は150人前後となっております。利用の多かった寺田橋東は、バス停の目の前にクリニック、包括支援センターがあるほか、おかよし交流センターは施設利用者の方に利用いただけていると考えております。</p> <p>13ページに移りまして、乗継タクシーの利用状況ですが、令和4年度は4月分、令和3年度は年間利用者数になりますが、三好西口地区が最も多く66人、次いで萌生地区2(あざぶの丘)が34人、新たに新設した打越地区4(安立荘前)が32人となっております。議題1でもご説明したとおり、10月に路線再編フォローアップ調査を実施予定ですので、その際、利用実態などを調査していきたいと考えております。</p> <p>また、14ページにありますとおり、1月で計187件の問合せがありました。多くは行先案内でありました。また、御意見としましては、乗り継ぎが必要となった方や乗継ぎがスムーズでない便に乗られる方から一部ございました。</p> <p>なお、1月間主要バス停に案内人を配置したこともあり、大きな混乱はなかったほか、ダイヤの見直しにより遅延数も大幅に削減されていることも併せて報告させていただきますが、先ほど久野委員からも遅延数のお話がありましたので、昨年度との比較を報告させていただきますと、昨年の4月においては、1月で運行数1,500便に対し、定刻より10分以上遅延した便は380便で遅延率は25.3%でした。そして、今回の路線再編後では、運行数が2,760便に対し、遅延数は106便で遅延率3.8%という結果となっております。</p> <p>報告は以上となります。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどの久野さんの御意見にもあったように、4月はとりあえず皆さまに喜んでいただいたというか、市民の皆さまからある程度の評価をいただいているのだということでございます。</p> <p>これについて何かまだ御質問、御意見がございましたらお受けしたいと思えます。いかがでしょうか。</p>
松本副会長	<p>好調ということで、すごく安心しております。</p> <p>さらにコロナも落ち着いてきて、もっとも増えて27万人、さらにその上を目指していけると良いと思っています。今回の再編で、乗り継ぎを設定しましたので、特にイオン三好では時間に余裕を持たせて乗り継げるようにしたかと思えます。実際見てみますと、イオン三好で非常に乗り継ぎが発生しており、良かったと思っております。ねらいどおりだと思っております。</p> <p>一方で、この乗り継ぎの中で、偏っているところがあるなど思っています。資料3ページの右側の表でイオン三好店のところを見ると、全体で439人あって、くろまつからいいじゃんが185人乗り継いでいますが、逆は半分しかいません。これはなぜでしょうか。その他は、ほぼ同じぐらいの数が乗り継ぎになっていますが、このアンバランスが一つ気になりますので、もしおわかりでしたら教えてください。</p> <p>また、13ページの乗継タクシーですが、御報告いただいたとおり、令和4年は一月分となっております。これを12倍すると年間の利用者数は推測できるかと思えます。そうすると、気になるのが2点あって、みよし市役所での乗り継ぎが非常に増えているというのと、それから逆に三好池東がものすごく減ってしまっていますが、何か原因等わかったら教えてもらえたらと思います。</p>
事務局	<p>御質問いただきありがとうございます。</p> <p>まず3ページの乗り継ぎの実態ですが、運行事業者を確認をしたところ、まずイオン三好ではくろまつからいいじゃんが185人いまして、その逆は98人ということで、行きに通勤・通学で利用される方は、バスを乗り継いでいきますが、帰りの便によっては、イオン三好で降りて、少し買い物をして帰るだとか、また親御さんがお迎えに来るといったケースもあるようで、そういった報告を受けており</p>

	<p>ます。</p> <p>13ページの乗継タクシーについてですが、まず三好西口地区が一月で66件あった件につきまして、こちらも運行事業者に確認をしたところ、3月ごろから夫婦で利用される方がいるとのことで、昨年度は125件という実績にはなっていますが、月別で見ますと、3月で46人あり、その方が今も利用されているということで、特定の方の御利用と考えております。また、4月の路線再編以降は、中央病院に行きたい方に対し、三好西口地区を最寄と案内をしていることでもありますので、今後も増加が見込まれるかと思っております。</p> <p>次に、打越地区3（三好特別支援学校前）の利用者数が減っている点につきましては、もともと打越地区3にしかなかった乗継タクシー乗降場を、打越地区4（安立荘前）に分割し新規設置をしていますので、二つを足すと52件となりますので、利用は多いのではないかと考えております。</p>
<p>松本副会長</p>	<p>ちゃんと調べていただいてありがとうございます。やはりそういったことを確認しつつ、どういう状況が起きているかを分析いただくのが大事だなと思っております。すごく重要な姿勢だと思っております。</p> <p>イオン三好については、なるほどと思ったのですが、これは良かったですね。イオンで乗り継ぐことによって、帰りに買い物していただくとか、場合によってはそこで時間をつぶしながら親が迎えに来てくれるわけで、ひょっとしたらイオンでお金を落としている可能性もありますよね。</p> <p>これらのデータを裏付けとして、イオン三好さんとお話しながら、何かそういった方々に対してお得になるような施策も一緒にやれると良いですね。そういったことにも広げてもらえるといいかと思っておりますし、面白いライフスタイルだなと思っております。</p>
<p>伊豆原会長</p>	<p>今のお話は4月だけですので、もう少し追っかけてデータを分析していただけたらと思います。先ほど10月にもフォローアップ調査を実施するというので、少し調査なんかできたら良いかなと思っておりますし、ぜひ協力していただけたらというふうに思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。もしなければ、少し皆さまで注目していただいて、また御利用いただいた感想も、久野委員のようにこの席でお話いただけると大変ありがたいと思います。</p> <p>それから、周囲の方にも皆さまで話題にしてください。よろしく願います。もし御質問等がなければ、確認させていただいたということですのでよろしいでしょうか。</p> <p>【委員承認】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、最後に報告事項3になります。午後3時頃をめぐりと言っていましたが、若干延長させていただきますので、御了承ください。</p> <p>それでは、三好ヶ丘ループバスについて、愛知つばめ交通さんからお願いします。</p>
<p>山口委員</p>	<p>愛知つばめ交通の山口と申します。</p> <p>少しお時間をいただきまして、三好ヶ丘ループバスについて、資料に基づいて少し御報告をさせていただきたいと思っております。</p> <p>三好ヶ丘ループバスは、平成16年9月の名鉄バス三好丘団地線の運行終了に伴い、地域の皆さまの通勤・通学の足を確保する目的として、私どもが路線を踏襲し、三好丘団地の通学バスとして運行を現在まで継続して行わせていただいております。</p> <p>平成16年10月から運行を開始しましたが、当初は、運営協議会というものを地域の皆さまに作っていただいて、会員制の貸切バスとして1乗車200円で運行しておりました。そこから、平成20年6月から、こちらでの会議にもお諮りいただきながら、会員制を廃止し一般の路線バスに移行して、平成23年の4月に時刻表一部改定しつつ、現在の運行まで至っております。</p>

	<p>系統名三好ヶ丘ループバス、運送態様は定期運行で、平日が17便、朝7便で夜が10便、土日祝日は12便、朝が4便で夜が8便となっております。停留所は12か所、1乗車100円で回数券もありますが、このような形で私どもが運行させていただいております。</p> <p>そして、先ほどの報告でも一部触れられておりましたが、コロナの影響もあり、もともと右肩下がりの状況でしたが、コロナの影響もあり、利用者数が激減している状況でございます。</p> <p>次の資料を見ていただきますと、3か年度の利用者数の平均値を記載しておりますので、御参考にしていただければと思います。運行における今後の方向性としましては、平日便におきましては、さんさんバス路線再編後のダイヤ及び名古屋鉄道の三好ヶ丘駅発着時刻に合わせて、ダイヤを改正させていただきまして、通勤・通学の皆さまの利便性向上を図りまして、利用者の促進につなげていきたいと思っております。</p> <p>そして、土日祝日におきましては、地域住民の方の足を確保することを目的として、運行を続けてきましたが、新型コロナウイルス感染症や利用者ニーズなど、様々な要因から、利用人数の減少が続いております。</p> <p>令和元年度から3年度までの土日祝日の1日当たりの利用者数の平均は、25.5人、1便当たりの平均利用者数も2.1人と、平日に比べて非常に低い状況にありますので、今後、運行の見直しについて検討を行っていきたくと考えております。以上、御報告でございます。</p>
伊豆原会長	<p>ただいま三好ヶ丘ループバスについて、運行事業者の愛知つばめ交通さんから御報告いただきましたが、これについて何か御意見でも御質問でも結構ですが、ございましたらお聞きしたいと思っておりますが、いかがですか。</p> <p>見直しをするということで、平日については今のまを確保しようというお話かと思っております。ダイヤは少し考えてとのことですが。そして、土日祝日については、見直しという言葉がありました。便数は現在朝4便、夜8便ですが、今後減便の方向で考えているのか、それともちょっと言い方が悪いですが、廃止の方向でいるのか、できる範囲で方向性についてお話いただけますか。</p>
山口委員	現状としては、今の利用状況を見て、土日祝日便については、運行を取り止めさせていただきたいと考えております。
伊豆原会長	これは、道路運送法第4条になりますか。
山口委員	第4条になります。
伊豆原会長	そうすると、多分運輸支局に御相談であったり、会議でも協議事項にしたりしないといけないですね。ですから、今ここで報告していただいておりますが、次のステップについては、運輸支局と事務局にも相談しながら御検討いただいて、協議というふうをお願いしておきたいと思っております。そんなアドバイスでよろしいでしょうか。その他ございましたらお願いします。
山内委員	<p>委員の皆さまにお聞きしたいのは、土日祝日便のお話がありましたが、平日の運行についても、1日あたり76.7人という状況です。今、経過を見て、そうだったんだと思った点もあって、三好ヶ丘ループバス運営会というような応援団もかつてはあったということで、このバスについて、今後どのようにしていこうか考えることが大事で、もちろん土日の運行をやめるのは、結局のところ路線廃止ではなく、ダイヤの変更になりますので、そういう意味では廃止協議には至らないですが、市民の皆さまの足には大きく影響すると思っておりますので、そこを話し合っただけであればと思います。</p> <p>それに対し、土日の話と捉えるのか、これをきっかけに全体をもっと真剣に考えなきゃいけないと向かっていくのか、ちょっと皆さまで御検討いただけたらありがたいと思っております。</p> <p>土日の利用者数が減っているといった話が、この会議で初めてお聞きになられた委員の方もいらっしゃると思っておりますが、中には現状を知ってらっしゃった方もいるのではないかと考えていて、ループバスの現状について、真剣に少し議論を</p>

	<p>深めていただきたいと思います。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございます。私もそこを気にしていました。今日は、報告事項ですが、このバスの役割も含めて、私たちが少し整理して考えなきゃいけないということですね。平日については良いかということ、実は平日についてもかなり利用者は減っています。実際問題として、本当にその役割は良いのかということあたりも含めて、今日は問題提起をしていただいたと私は考えております。</p> <p>ですから、お住まいの方たち、利用されていた方たちがどのようになってしまうのか、また、その地域にとって本当に大丈夫なのかということを含めて、皆さまと議論をしていきたいと思っております。</p> <p>今日は問題提起ということで、先ほどおっしゃったように、初めてお聞きになられた方も多いかと思います。そういうことで、かなり愛知つばめ交通さんとしては、苦勞しておられることが私はよくわかりますので、ぜひそうしたことも含めて皆さまからお教をいただいて、次のところで議論したいと思っております。</p> <p>今日は、そういう意味で問題提起ということで位置付けしておきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>何か御質問、御意見がございましたらお受けしたいと思っておりますがいかがですか。</p>
松本副会長	<p>この三好ヶ丘ループバスというのはこのダイヤを見ると朝夕非常に20分間隔とか30分がものすごく便利で、この地区の方々にとっては、すごい有用な交通手段になっていると思います。ただ、コロナの状況で大変厳しいのはそのとおりなんですけど、一方で、今回この路線再編においてこちらの地区の方々からは、今以上、再編前以上にサービス水準は下げるなというか、結構強い御要望があって、そして乗り入れたということもあったかと思っております。</p> <p>この地区の方々にとってバス、駅への交通手段、駅からの交通手段というのは、それなりに重要視されていると思います。そういう意味で、やはりこの厳しいから何とかしていかないといけないという状況はわかりますが、一方で、住民の方々にもそこはしっかりとお伝えしていかないといけないと思っています。</p> <p>愛知つばめ交通さんだけでやることではないので、やはり行政も中に入りながら、大変厳しい状況だと、このままだとなくなりますよということもしっかりお伝えしていかないといけないと思います。</p> <p>それとともに、今回再編でダイヤがかなり変わっているかと思いますが、三好ヶ丘ループバスの方は変わっていませんよね。やはり、このダイヤも見直していただくことも必要かと思っています。</p> <p>例えば、すごい近いところのダイヤもあるので、そこも減便してしまうだとか、あるいはもう少し間隔をうまく空けるとか、ループバスも含めたこの地区のダイヤ、ここだけのルート図みたいなものを作って、これを皆さまに使っていただくというのも良いという気もしますので、まだやれることはあるはずだと思います。</p> <p>少なくとも利用者の方々が、そんなの知らなかったなんてことにならないように、前もって情報提供するとともに皆さまでやはり使ってくれないと、それは需要に応じて減ってくるんだよということをお伝えいただくという必要があるかと思っていますので、ぜひ事務局も大変ですが、そういったこともお願いできればと思います。</p>
伊豆原会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今の松本先生の御指摘は、大変大切なことだと思いますので、よろしくお願ひします。三好ヶ丘そのものがオープンしてから、もう時間も結構経っています。当時若かったけど、結構お年を召された方も、私達とほぼ同年代でございますので、結構そういった形もあると思います。このバスの使い方は、もう少しみんな考えていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>三好ヶ丘駅はすごく大切ですが、地域の足という意味での使い方も考えていかれることもあっても良いかと思っております。ぜひ、事務局の方も山口さんと一緒になって地域の皆さまと協議をしていただく、どんな使い方があるのか話し合っ、楽しい使い方がないものか、ということも含めて、問題提起をしていただいたので、一緒になって考えていけたらと思っておりますので、事務局の方もよろしくお願ひしま</p>

	<p>す。</p> <p>他にいかがですか。もしなければ、そのような形でちょっと検討させていただくということで、皆さまにもまた、今思いつかなくてもひょっとしたらお帰りになって、こんなふうにと考えたかどうかというのがございましたら、ぜひ事務局の方に知恵を伝えていただくと大変ありがたいなと思います。よろしく願いします。</p> <p>もしなければ、こういった形で確認させていただいたということで進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>【委員承認】</p> <p>それでは、一応ここまでが私の役割だと思います。事務局にお返しします。</p>
<p>典 礼 海堀課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>これで本日予定しておりました議事は、すべて終了しました。長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>また、本日は、大変貴重な御意見、またアイデア、課題をいただいたとっております。本当にありがとうございました。</p> <p>次回会議につきましては、また調整させていただきますが、8月頃を予定しております。決定次第、委員の皆さまには御連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それではこれもちまして、令和4年度第1回みよし市地域公共交通会議を終了いたします。最後に礼の交換を行いたいと思いますので、恐れ入りますが御起立をお願いします。</p> <p>一同礼</p> <p>【閉会】</p>